

反射式視線誘導標に関する
調査表記入マニュアル

[E030] 反射式視線誘導

この調査表は、視線誘導標（反射式）に関するデータを登録するためのものである。

1. 一般的注意事項

データは次の単位で作成する。

- 都道府県市区町村毎とする。 注1)
- 路線毎とする。
- 反射式誘導標の種類毎とする。 注2)

注1) 市区町村界と管轄境界が一致しない場合には、関連する事務所及び出張所間でよく協議してデータを作成すること。

注2) ここで取扱う視線誘導標は、防護柵、構造物等に設置されているものは除く、単立柱のみ計上する。防護柵、構造物等に設置されているものを計上する場合には、(AE) 誘導標の種類としては、「その他」で取扱うものとする。「直轄指定管理区間現況調査より」

2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C
- (D) 事務所C
- (E) 出張所C
- (F) 路線
- (G) 現旧区分C
- (H) 整理番号1
- (I) 整理番号2
- (J) 整理番号3
- (N) 補助番号

上記 (1)、(2)、(3)、(C)、(D)、(E)、(F)、(G)、(H)、(I)、

(J)、(N)の記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」,
§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(P) 市区町村C : ◆

該当する区間の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

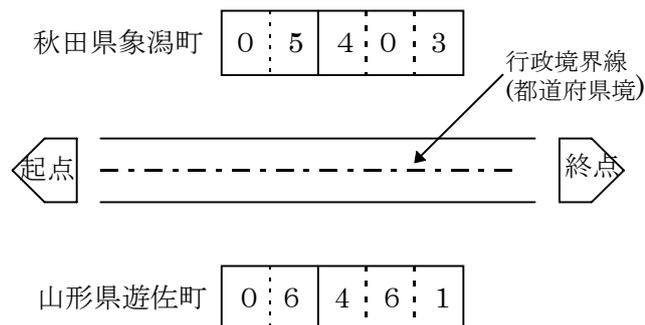
(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード: 08401
(検査数字は含まない)

なお、行政境界線に沿って道路が設けられている場合、当該道路の属する区域は次のとおりとする。

1. 行政境界線が管理者境界にあたる場合には、該当道路の管理者側の地名を記入する。

(山形県管理の場合) 山形県遊佐町 ——> コード: 06461
(検査数字は含まない)

(秋田県管理の場合) 秋田県象潟町 ——> コード: 05403
(検査数字は含まない)



2. 行政境界線が同一管理区域内の境界にあたる場合には、起点から終点に向かって左側の地名を記入する。

(S) 所在地自

該当する区間の始点側の所在地(字番地まで)について、30文字以内の日本語で記入する。

(T) 所在地至

該当する区間の終点側の所在地(字番地まで)について、30文字以内の日本語で記入する。

(U) 百米標自 (km)

該当する区間の距離標(百米標)を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル(共通編)」, §1. 共通注意事項」を参照のこと。

(V) 距離自 (m)

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(W) 百米標至 (km)

該当する区間の距離標（百米標）を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(X) 距離至 (m)

該当する区間の距離標（百米標）からの距離を記入する。記入方法については、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(AA) 施設完成年度

施設が完成した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。

(記入例) 昭和61年 ——> $\frac{361}{\uparrow}$
年号コード（3：昭和）

(AB) 施設改修年度

施設を改修した年度を記入する。（年は和暦を記入）

年号コードについては、「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル（共通編），§1. 共通注意事項」を参照のこと。施設の改修がなされていない場合は「*」を記入する。

(記入例) 平成5年 ——> $\frac{405}{\uparrow}$
年号コード（4：平成）

(AC) 上り下り区分C

上り・下り区分について、該当するコードを記入する。

| 区 分 | コード |
|-------|-----|
| 上下線共通 | 0 |
| 上り線 | 1 |
| 下り線 | 2 |

(AE) 誘導標種類C：◆

誘導標の種類について、該当するコードを記入する。

| 区 分 | コード |
|----------------|-----|
| 支柱タイプ（単独柱）片面反射 | 1 1 |
| 支柱タイプ（単独柱）両面反射 | 1 2 |
| そ の 他 | 9 9 |

(AH) 個数：◆

該当する区間の誘導標の個数（のべ個数）を記入する。

(AI) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

E030：反射式視線誘導

| 項目名 | 入力書式 | | CSV作成対象 | |
|---------|--------|-----|---------|----------|
| | データ表現 | 単位 | 全国版 | 中国版 |
| | | | SYOGEN | SYOGEN_0 |
| 工事番号 | 半角16文字 | | | ○ |
| 工事区分C | 半角1文字 | | | ○ |
| 施設対応番号 | 半角16文字 | | | ○ |
| 地整C | 半角2文字 | | | ○ |
| 事務所C | 半角2文字 | | | ○ |
| 出張所C | 半角2文字 | | | ○ |
| 路線 | 9999 | | ○ | ○ |
| 現旧区分C | 半角1文字 | | ○ | ○ |
| 整理番号1 | 半角8文字 | | ○ | ○ |
| 整理番号2 | 半角4文字 | | ○ | ○ |
| 整理番号3 | 半角4文字 | | ○ | ○ |
| 補助番号 | 半角2文字 | | ○ | ○ |
| 市区町村C | 半角5文字 | | ○ | ○ |
| 所在地自 | 全角30文字 | | | ○ |
| 所在地至 | 全角30文字 | | | ○ |
| 百米標自 | 999.9 | k m | ○ | ○ |
| 距離自 | 9999 | m | ○ | ○ |
| 百米標至 | 999.9 | k m | ○ | ○ |
| 距離至 | 9999 | m | ○ | ○ |
| 施設完成年度 | 999 | 和暦 | | ○ |
| 施設改修年度 | 999 | 和暦 | | ○ |
| 上り下り区分C | 半角1文字 | | | ○ |
| 誘導標種類C | 半角2文字 | | ○ | ○ |
| 個数 | 9999 | | ○ | ○ |
| 備考 | 全角50文字 | | | ○ |

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照